

佐賀県感染症発生動向調査速報

平成16年第39週 平成16年9月20日(月)～平成16年9月26日(日)

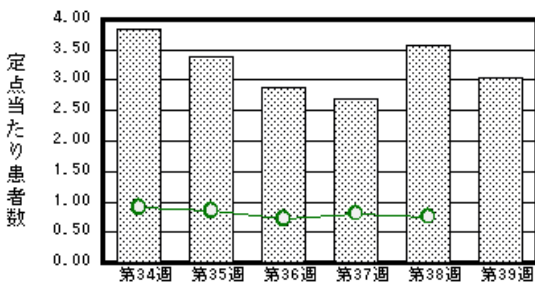
<http://www.kansen.pref.saga.jp>

佐賀県感染症情報センター

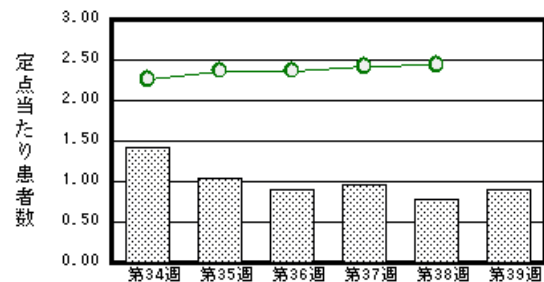
注目疾患の動向

- 【報告数の多い疾患】 流行性耳下腺炎 (70名) 突発性発疹、感染性胃腸炎 (21名) 手足口病 (15名) 水痘、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (10名)
- 【流行性耳下腺炎】患者報告数が減少しました (82名 70名)が、前週に引き続き過去5年間の同時期と比較して患者報告数は多くなっています。
- 【腸管出血性大腸菌感染症】佐賀中部保健所管内で1名 (O157) の届出がありました。県内では6月以降発生が続いています。手洗いや食品の温度管理、十分な加熱等一般的な食中毒予防に心がけましょう

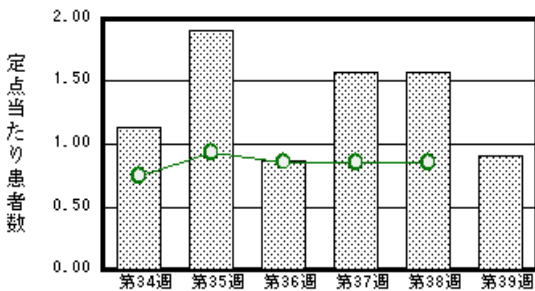
流行性耳下腺炎



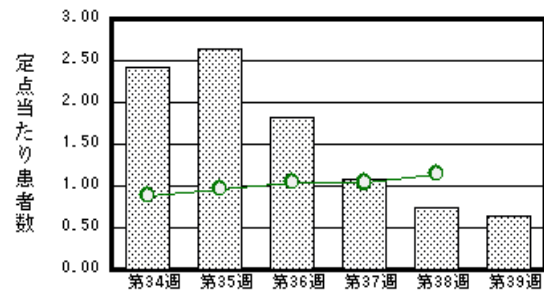
感染性胃腸炎



突発性発疹



手足口病



棒グラフは佐賀県、折れ線グラフは全国の数値を表しています。

各疾患の動向グラフについては佐賀県感染症情報センターのホームページをご覧ください。 <http://www.kansen.pref.saga.jp>

全国版感染症週報 (DWR) 2004年第37週号 (9月6日～9月12日) 要点

・ 発生動向総覧	< 第37週 > A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 - 定点当たり報告数は第23週から減少し続けていたが、第35週からは増加している。過去5年間の同時期と比較してかなり多い / その他最新動向
・ 注目すべき感染症	< 腸管出血性大腸菌感染症 > 2004年第37週の現段階での報告数は104例であった。1週間当たりの報告数は第30週を除き、第29週以降ほぼ同数で推移していたが、第36週からは減少している
・ 病原体情報	ヒトから検出されているアデノウイルス3型&2型2004年 / 無菌性髄膜炎患者から検出されているウイルス2004年 / ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌2004年
・ 速報	手足口病患者からのコクサッキーウイルスA16型の検出 - 川崎市 / 急性脳炎患者からのコクサッキーウイルスA2型の分離 - 広島市
・ 海外感染症情報	チャドでのE型肝炎 / ベネズエラでの黄熱流行
・ 感染症の話	< 今週はお休みです >

詳細は国立感染症研究所感染症情報センターのホームページをご覧ください。 <http://www.idsc.nih.go.jp>

佐賀県感染症発生動向調査速報

http://www.kansen.pref.saga.jp

佐賀県感染症情報センター

全数届出の感染症 (佐賀県)

疾病名	腸管出血性大腸菌感染症 (O157) (三類感染症)	破傷風 (五類感染症)
患者 (住所地)		1名 (80歳代女性) (——)
無症状病原体保有者	1名 (第38週届出関係者)	
感染原因・感染経路	不明	右下腿刺傷
平成16年届出累計	14件36名 (今週0件1名)	2名
平成15年	同 期	18件32名
	届出累計	25件42名

佐賀県感染症発生動向調査

定点報告 (五類感染症 (週報分))

平成16年第39週

平成16年9月20日 (月) ~ 平成16年9月26日 (日)

定点種別 (定点数)	保健所 病名	佐賀中部 保健所	鳥栖 保健所	唐津 保健所	伊万里 保健所	杵藤 保健所	計	前週	全国 (第38週)
インフルエンザ (39)	インフルエンザ (高病原性鳥イン フルエンザを除く)								12 0.00
小児科 (23)	RSウイルス 感染症								42
	咽頭結膜熱				1 0.33		1 0.04	3 0.13	674 0.22
	A群溶血性レン サ球菌咽頭炎	3 0.38	5 1.67		2 0.67		10 0.43	14 0.61	1744 0.57
	感染性胃腸炎	3 0.38	8 2.67	2 0.50		8 1.60	21 0.91	18 0.78	7412 2.44
	水痘	2 0.25		5 1.25		3 0.60	10 0.43	15 0.65	1308 0.43
	手足口病	3 0.38	3 1.00	3 0.75	1 0.33	5 1.00	15 0.65	17 0.74	3496 1.15
	伝染性紅斑	1 0.13	1 0.33	4 1.00			6 0.26	6 0.26	446 0.15
	突発性発しん	6 0.75	5 1.67	7 1.75	3 1.00		21 0.91	36 1.57	2580 0.85
	百日咳								44 0.01
	風しん								36 0.01
	ヘルパンギーナ	1 0.13					6 1.20	7 0.30	1459 0.48
	麻しん (成人麻 しんを除く)								7 0.00
	流行性耳下腺炎	12 1.50	10 3.33	33 8.25	4 1.33	11 2.20	70 3.04	82 3.57	2300 0.76
眼科 (4)	急性出血性結膜炎								26 0.04
	流行性角結膜炎								502 0.79
基幹 (6)	細菌性髄膜炎								4 0.01
	無菌性髄膜炎								14 0.03
	マイコプラズマ肺炎							1 0.17	71 0.15
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)								3 0.01
	成人麻しん								

インフルエンザは、小児科定点 + 内科定点。

細字は定点当たり患者数

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患。全国の集計は37週分(患者報告数)である。

佐賀県感染症発生動向調査 (定点報告 五類感染症)

平成16年第39週 平成16年9月20日(月)～平成16年9月26日(日)

インフルエンザ 定点	インフル エンザ (高病原 性鳥イン フルエン ザを除く)	小児科 定点	RSウ イルス 感染症	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ球 菌咽頭 炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	風しん	ヘルバ ンギー ナ	麻しん (成人 麻しん を除く)	流行性 耳下腺 炎	眼科・基幹 定点	急性出血 性結膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性髄 膜炎	無菌性髄 膜炎	マイコプ ラズマ肺 炎	クラミジア 肺炎(オ ウム病を 除く)	成人麻し ん
6ヶ月未満		6ヶ月未満				1				1						6ヶ月未満							
12ヶ月未満		12ヶ月未満				3			1	16						2	12ヶ月未満						
1歳		1歳		1		2	2	4		4				2	1	1歳							
2歳		2歳			1	4	4	6						2	8	2歳							
3歳		3歳			1	1	1	4	1					3	8	3歳							
4歳		4歳			1	1	1								16	4歳							
5歳		5歳			4	1	2	1	1						21	5歳							
6歳		6歳			1				1						4	6歳							
7歳		7歳				2			1						3	7歳							
8歳		8歳				2									3	8歳							
9歳		9歳			1				1							9歳							
10歳～14歳		10歳～14歳				3									3	10歳～14歳							
15歳～19歳		15歳～19歳														15歳～19歳							
20歳～29歳		20歳以上			1	1									1	20歳～29歳							
30歳～39歳																30歳～39歳							
40歳～49歳																40歳～49歳							
50歳～59歳																50歳～59歳							
60歳～69歳																60歳～69歳							
70歳～79歳																70歳以上							
80歳以上																							
合計		合計		1	10	21	10	15	6	21			7		70	合計							
前期計		前期計		3	14	18	15	17	6	36			1		82	前期計						1	
当期間/前	***	当期間/前	***	0.33	0.71	1.17	0.67	0.88	1	0.58	***	***	7	***	0.85	当期間/前	***	***	***	***		***	***
増減数		増減数		-2	-4	3	-5	-2		-15			6		-12	増減数						-1	

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患

***は前期計が"0"のとき

